

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 1日

事業所名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	0	構造化の中で支援を行っている。	安心して過ごし、スケジュールに沿う活動を行う。
	2	職員の配置数は適切である	9	0	0	マンツーマンもしくは一人に二人の配置	状況に応じた職員数でのしえんを行う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	3	0	衝撃防止マットや踏み台の設置	安心、安全に過ごせるよう、環境設定を行う
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	4	0	職員と共有しながら実施している。	チェック表を用いて情報共有をしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	0	定期的に実施している。	保護者と信頼関係を構築出来るように連絡を密に行い共有をはかる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	0	HPで閲覧出来るようにしている。	HPや通信で発信していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	0	0	該当なし	必要に応じる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	4	2	コロナ禍で機会がない。	機会があれば、積極的に参加したい。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0	ニーズを踏まえて計画書を作成している。	保護者様と児童の課題を共有し作成する。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	3	1	標準化されたものだけではない。	アセスメントシートを用いた情報共有に努めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	0	話し合いながら実施している。	全職員で立案できるよう、機会をもうける
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	0	特性を踏まえた活動内容の検討	児童の特性を踏まえ活動の実施、振り返り、改善につなげる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	0	0	利用時間に応じた活動内容のけんとう	各々の利用時間、特性に配慮し、事前予告や課題の設定をする。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0	別集団活動の計画書を作成している。	特性を踏まえた個別集団活動の計画書を作成。無理のない取組みをする。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	0	朝礼、昼礼時に職員間で共有	朝礼、昼礼、終礼時に情報共有をする。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	0	終礼時の職員間での共有	終礼時、職員間での情報共有と振り返りで改善に繋げていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	ケース記録や日誌に記録し改善に努める。	記録は共有し振り返りと改善につなげる。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	0	定期的なモニタリングが出来ている。	必要に応じたモニタリングを行う。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	2	0	複数組み合わせ活動の設定	基本活動を組み合わせて行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	0	管理者が随時参加することができる	積極的に参加し課題解決へのアプローチをする。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	9	0	0	事前に共有ができています。	児童、保護者様、学校への迷惑が無いよう連絡や情報の共有を図っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	6	3	該当なし	該当者があれば、連携した支援に努める。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	0	0	共有に努めている	連携して相互理解ができるよう、情報の共有に努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	0	0	電話や会議等で情報の共有ができています。	必要に応じて情報の共有と連携を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	0	0	機会がない	なし
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9	0	0	コロナ禍で機会がない。	なし
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	2	0	参加の機会を検討する	参加の機会を検討したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	9	0	0	電話、連絡帳、送迎時の伝達や、面談等を行っている	送迎時、連絡帳などで常時保護者と情報共有し共通理解に努めている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	9	0	支援計画作成時に説明を行っている。	関連機関からの研修の周知と参加の奨励を行う。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	0	契約時に説明している。	要望があれば、適時説明を行う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	0	電話や面談等で行っている。	保護者様の相談に適切に応じるよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	0	0	コロナ禍で休止。	コロナ禍以前に開催していたが、再開要望があり検討中。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	0	相談や申し入れは迅速に対応する。	安心して利用が出来るように相談には迅速に対応できるようにできるに努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	0	定期的にHPの更新や通信を発行し、配布、発進している。	定期的にHPの更新や通信を発行する。
	35	個人情報に十分注意している	9	0	0	全職員に周知徹底している。	個人情報の扱いには十分に気をつける。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0	個別に応じた方法にて配慮している。	保護者様との確認や共有をしながら各々に配慮していく。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	0	9	コロナ禍で機会がない。	今後、必要があれば検討していきたい。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	0	0	契約時に説明。訓練の準備	定期的に訓練を実施する。マニュアル周知をしながら体制を整えていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	0	定期的に訓練を実施	各々の特性を踏まえ、今後も定期的に訓練を実施する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	0	定期的に研修を受け、全職員に周知	定期的に研修に参加、全職員に周知する。 虐待の芽の早期発見
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	2	0	該当なし	該当者があれば、計画書に記載して保護者様の同意を得る。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	0	0	該当なし	利用前に保護者様から聞き取りを行い、適切に対処出来るようにする。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	0	事例集を作成、共有している。	振り返りや改善が出来るように作成し、同じケースが無いように努める。	